

巻 頭 の こ と ば

平成29年度に執行いたしました本市行政事務について、その概要を報告いたします。

国におきましては、アベノミクスにより日本経済の停滞が打破され、雇用・所得環境の大幅な改善を達成したことを背景に経済の好循環が着実に回り始めているとしているものの、本市における財政運営は、消費税率引き上げの再延期による影響や合併算定替の終了による地方交付税の減、人口減少・少子高齢化の進展による税収減、社会保障費の漸増等のほか、老朽化した施設の改修や改築経費、防災関連経費の増が見込まれるなど、一段と厳しいものになっていくことが見込まれます。

しかし、このような状況だからこそ、地域経済の活性化・雇用機会の拡大を目指し、米子インターチェンジ周辺において、新たな工業用地整備に着手いたしました。また、木質バイオマス発電所建設に向け和田浜工業団地整備事業を開始し、長年事業所の立地がなく、懸案でありました和田浜工業団地の未整備区域の解消とともに、発電所建設及び操業後の管理運営に伴う地元企業への受発注や新規雇用を見込んでおります。

子育て関連では、小規模民間認可保育所や認定こども園の整備に係る助成を実施することにより待機児童の解消に努めるなど、子ども達の健やかな成長につながる施策を実施しました。

市民生活では、災害時においても上水道の供給をたやまず、併せて水道ライフライン復旧活動の拠点としての役割を担う水道局の新庁舎が完成しました。地域密着型ということで、周辺地域の環境に配慮しており、活気あふれる町づくりの拠点ともなっていく庁舎です。

また、本市における喫緊の課題に機動的かつ部局横断的に対応することを目的とした庁内組織「住んで楽しいまちづくり戦略本部」を立ち上げ、今春には大規模な組織機構改正を行うなど、課題解決に庁内が一丸となって取り組みながら、鳥取県西部圏域はもとより、中海・宍道湖・大山圏域の中心的な役割を担う都市として、より一層の連携をもって一体感のある発展を図っていきたいと考えております。

市議会議員各位のご指導をはじめ、市民の皆さまのご意見とご協力をいただきながら、引き続き、市政運営にまい進する所存でございますので、どうか、一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年8月

米子市長 伊 木 隆 司